

中部地区医師会立「ぐしかわ看護専門学校」の 進捗状況並びに「建設学債」購入について



中部地区医師会 広報担当理事 比嘉 靖

本会立「ぐしかわ看護専門学校」の概要については、先に県医師会報（平成18年10月号）で報告を行ったところですが、今回は建設工事の進捗状況報告と「看護学校建設学債」についての説明と協力をお願いしたいと思います。

本会看護学校は、第1期工事：造成工事（平成18年度事業）、第2期工事：校舎・講堂建設工事（平成18年度事業）、第3期工事：外構・植栽工事（平成20年事業）で建設を進めております。第1期工事の造成工事は昨年10月3日に工事を2億3千5百万円で発注しました。敷地の大部分が谷間になっており看護学校敷地として利用するためには、埋土34,000m³（ダンプカー5,300台分）を搬入することになっておりますが、このところの雨により工期が当初の3月末から5月中旬と遅れ気味ですが、校舎・講堂の敷地部分を先に引渡しを受け、校舎・講堂工事を進められるようにしております。

第2期工事の校舎・講堂建設工事は、去る3月16日に総額12億2千万円で発注致しました。落札金額は設計金額の79%となり、3億円の負担を軽減することができました。工期は来年2月20日に引渡しを受けることになっており、校舎・講堂の特色は、敷地面積6,500坪もあり、駐車場スペースが250台設置されています。又、各室はバリアフリーで設計されており、学生のセミナー室が多いのが特徴です。設計に関しては、那覇市医師会看護専修学校、北部地区医師

会看護専門学校、おもと会沖縄看護専門学校の皆様からのご指導、ご意見を参考にさせて頂きましたので、紙面をお借りしてお礼申し上げます。今後は、運営面でもご指導をよろしくお願い申し上げます。

次に「本会立看護学校建設学債」についてご説明をしたいと思います。今回の看護学校建設学債は、看護学校建設資金を確保するために、本会会員・県医師会会員及び施設を対象に募集を行っております。期間は10年間、中部地区医師会が「金銭消費貸借契約」を行い、お借りすることになりますが、当初5年間は年利0.9%の利息のみ支払い、6年目より元金の20%と残金に対する利息をお支払いするものです。

看護学校運営は、建設費はもちろんのこと、開校初年度に定員（240名）に必要な教員を確保することが認可の条件となっていることから、開校3年目には収支のバランスがとれますが、その間は赤字のため、一般会計からの繰り入れが必要になりますので、看護学校の健全運営を図るためには、県医師会会員の皆様からのご支援を「看護学校建設学債」の購入という形でお願ひ申し上げる次第です。

看護学校建設学債については、地区医師会会長会議や沖縄県医師会共済会等でもお願ひをしていますが、各地区医師会においても、「建設学債」の購入をご検討頂きますようお願い申し上げます。

「ぐしかわ看護専門学校」

1. 案内図



2. 完成図

